

さくら市地域公共交通網形成計画

【概要版】

- 策定時期 令和2年3月
- 策定者 さくら市
- 計画期間 令和2年度から令和6年度まで
- 基本理念 四里四方のさくら市で快適に暮らし続けるための公共交通

1 「地域公共交通網形成計画」とは

「地域公共交通網形成計画」とは、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）により、市が作成できる計画です。

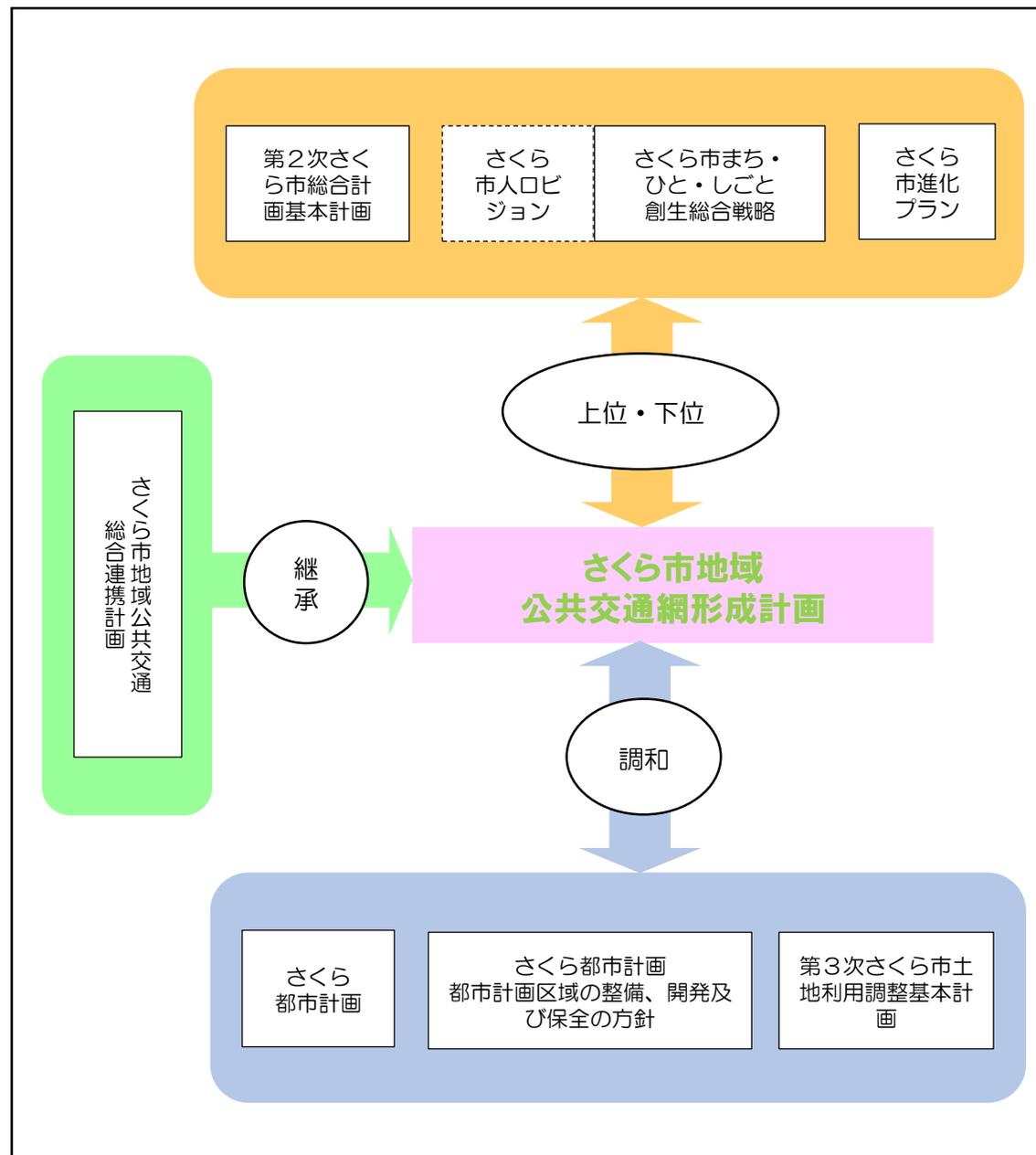
公共交通ネットワークに関するビジョンを明確にするための計画です。

- コンパクトシティの実現に向けた**まちづくりとの連携**
- 地域全体を見回した**面的な公共交通ネットワーク**の再構築

の実現を図るための計画

- さくら市の最上位計画である「さくら市総合計画基本計画」「さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「さくら市進化プラン」の下位に位置付け
- まちづくりとの連携が重要であるため「さくら都市計画」「さくら都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」「さくら市土地利用計画」と調整

■ さくら市地域公共交通網形成計画の位置付け



2 さくら市の現状

【さくら市の土地利用】

- 氏家地区・喜連川地区で地勢が大きく異なる。
- 氏家地区は、平地が広がり、平地に適した水田として土地が利用され、氏家駅周辺・大野等の住宅地に建物が集約。
- 喜連川地区は、丘陵の谷間に水田と集落が点在し、喜連川支所周辺・喜連川工業団地に建物が集約。

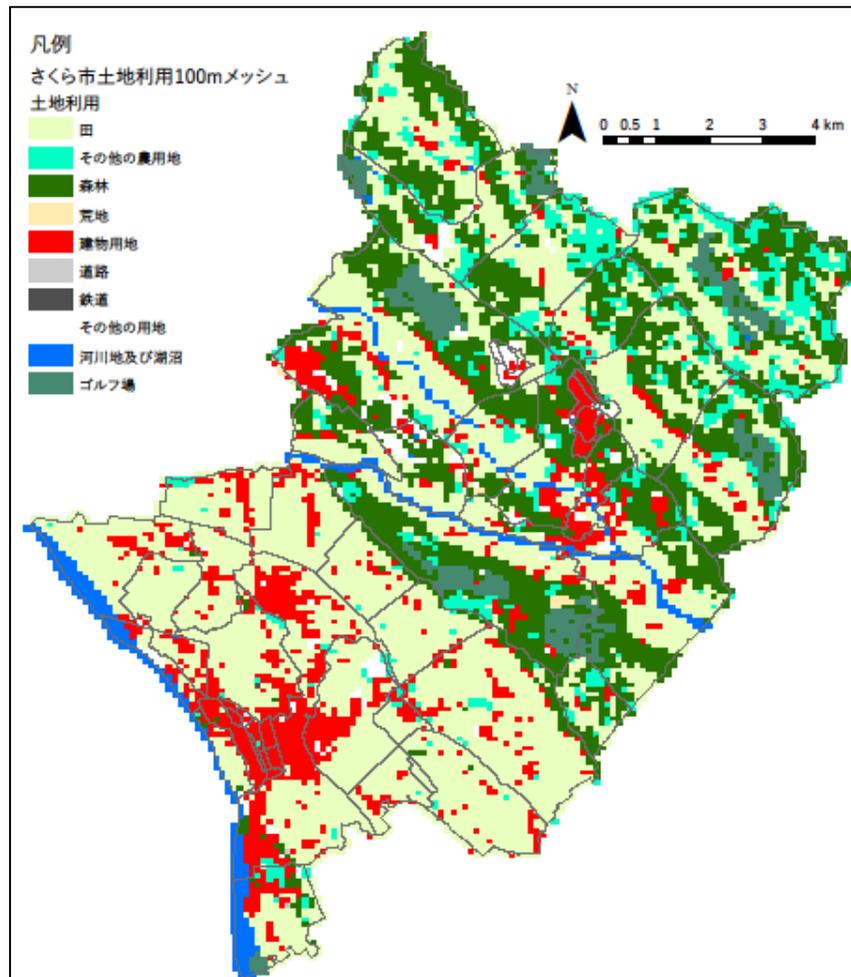
■ さくら市の人口 (R1年12月1日)

人口	男	女
44,749人	23,258人	21,491人

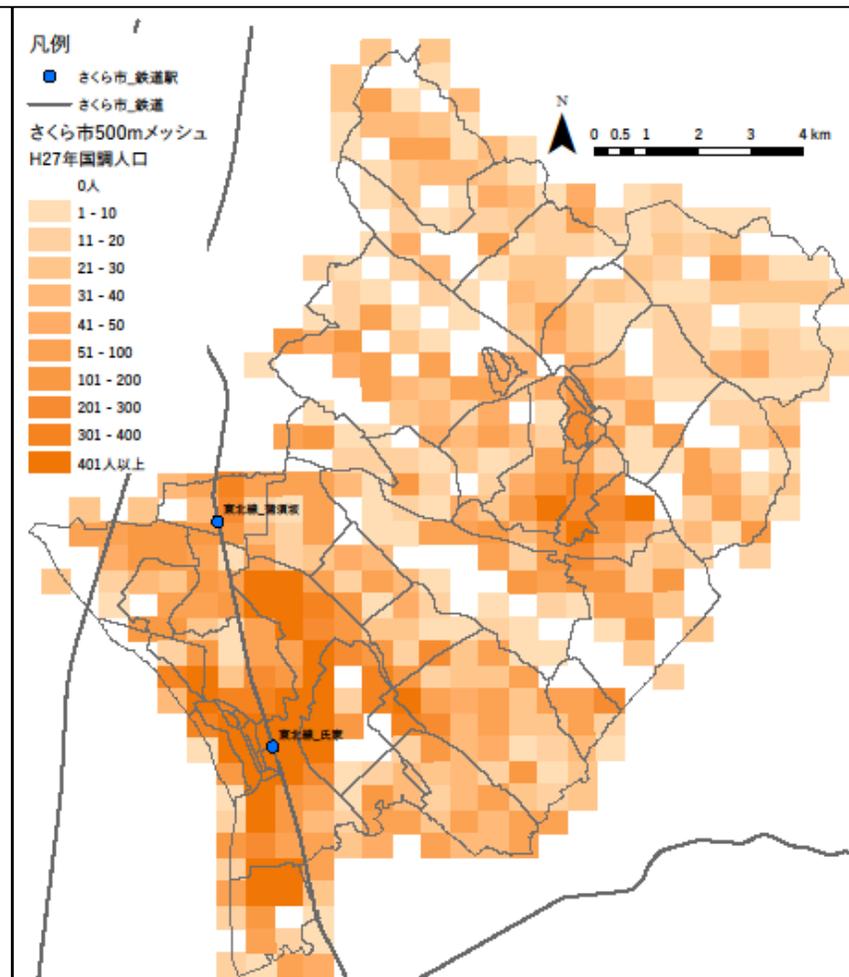
【さくら市の人口】

- 市内のほぼ全域に人が居住。
- 特に氏家駅周辺・大野等の住宅地・喜連川支所周辺に人口が集中。

■ さくら市の土地利用の状況 (H29年度調べ)



■ さくら市の人口分布 (H27年度国勢調査による)



3 さくら市の公共交通の現状(1)

現在、さくら市では、平成22年に策定した「さくら市地域公共交通総合連携計画」に則り、市内の公共交通の整備・運営を行っています。

鉄道・路線バスを「幹線系統」と位置付け、それを補完する公共交通システムとして、乗合タクシーを運行しています。

市内に交通空白地帯はありません。

また、道路運送法に該当しない交通サービスとして、福祉バス・観光温泉バスを運行しています。

■市内で運行している交通サービス（抜粋）

種類	事業者	路線名（愛称）
鉄道	東日本旅客鉄道(株)	宇都宮線
路線バス	関東自動車(株)	フィオーレ線・宇都宮東武線・馬頭線
	宇都宮市	氏家線
乗合タクシー	さくら市	コンタ号・うのはな号・つういんコンタ号
その他のバス	さくら市	福祉バス
	さくら市	観光温泉バス

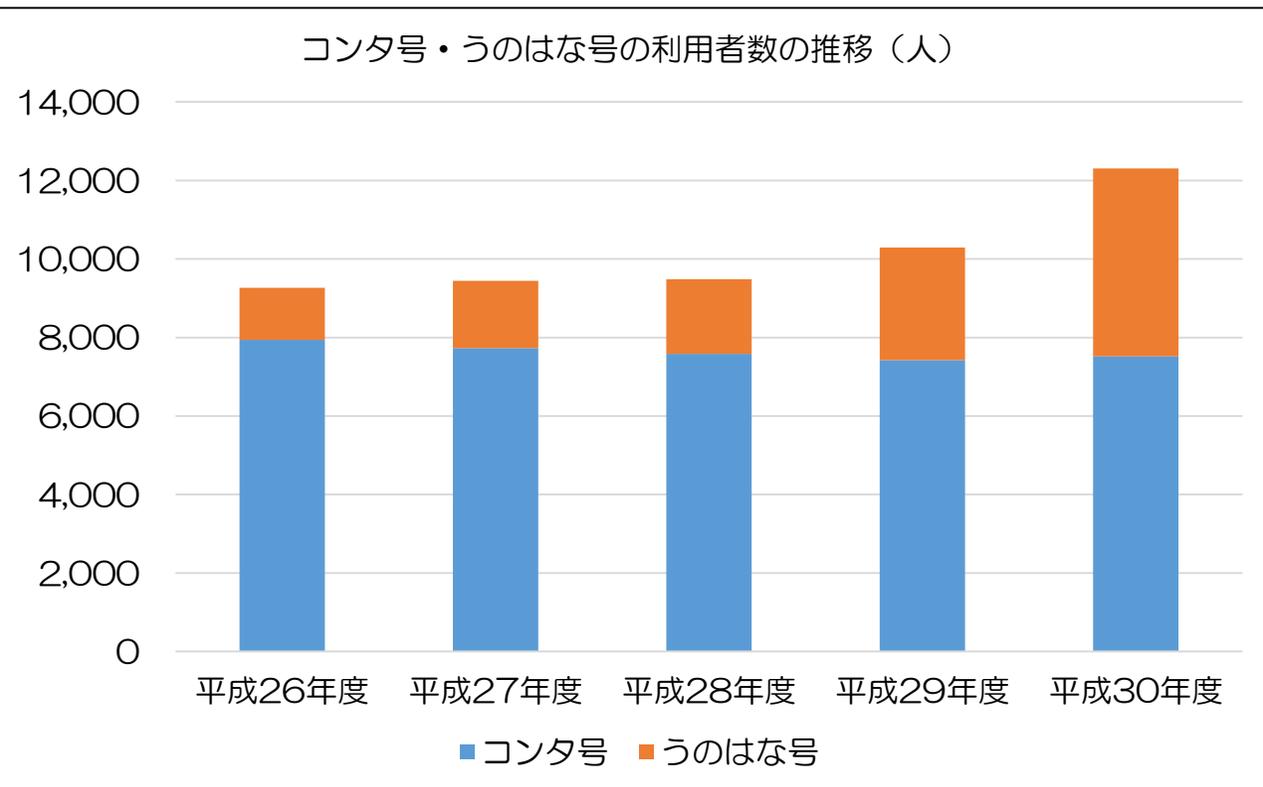
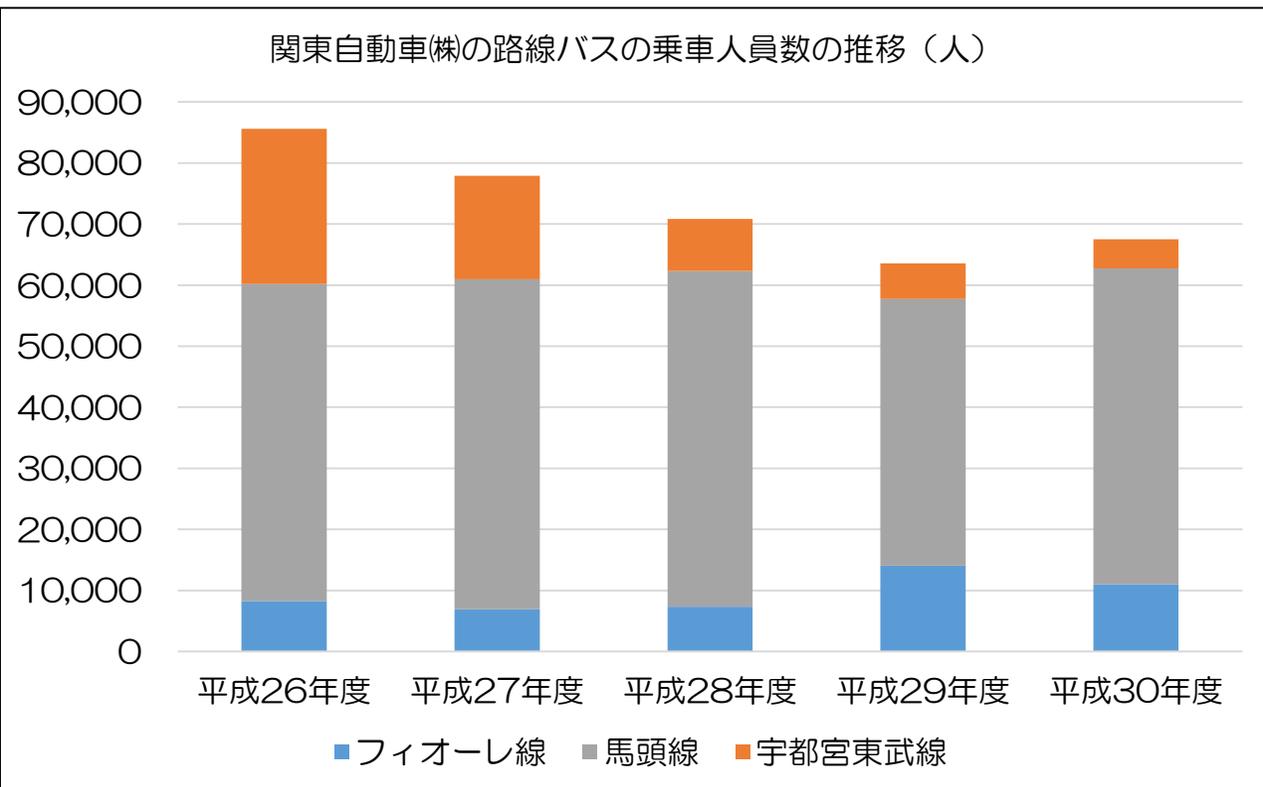
※ 他にタクシー・福祉有償運送等が運行

■さくら市公共交通総合マップ（R1年度）



3 さくら市の公共交通の現状(2)

■市内の交通サービスの利用状況(抜粋)



○ 路線バスはの乗車人員数は、宇都宮東武線が減少の傾向。フィオーレ線・馬頭線は、年度当たり約6万人で横ばい。

○ 氏家線の輸送人員数は、増加の傾向。平成30年度の輸送人員数は約11千人。

○ 乗合タクシーの利用者数は、コンタ号が微減の傾向で、うのはな号が増加の傾向。平成30年度の利用者の合計は、初めて12千人を突破。

○ 福祉バスの利用者数は、減少の傾向。平成30年度の利用者数は600人未満。

○ 観光温泉バスの利用者数は増加の傾向。平成30年度の利用者数は、初めて13千人を突破。

○ 市が負担する公共交通に係る経費は、微増の傾向。平成30年度の額は約7,500万円。

4 アンケート等による意見の収集

さくら市地域公共交通網形成計画の策定のため、毎年度、実施している**市民アンケート**の結果と、今回、計画策定のために実施した**市内交通に関するアンケート（高齢者対象）**の結果を参考にしました。

■市民アンケートの実施状況（H27年度は未実施）

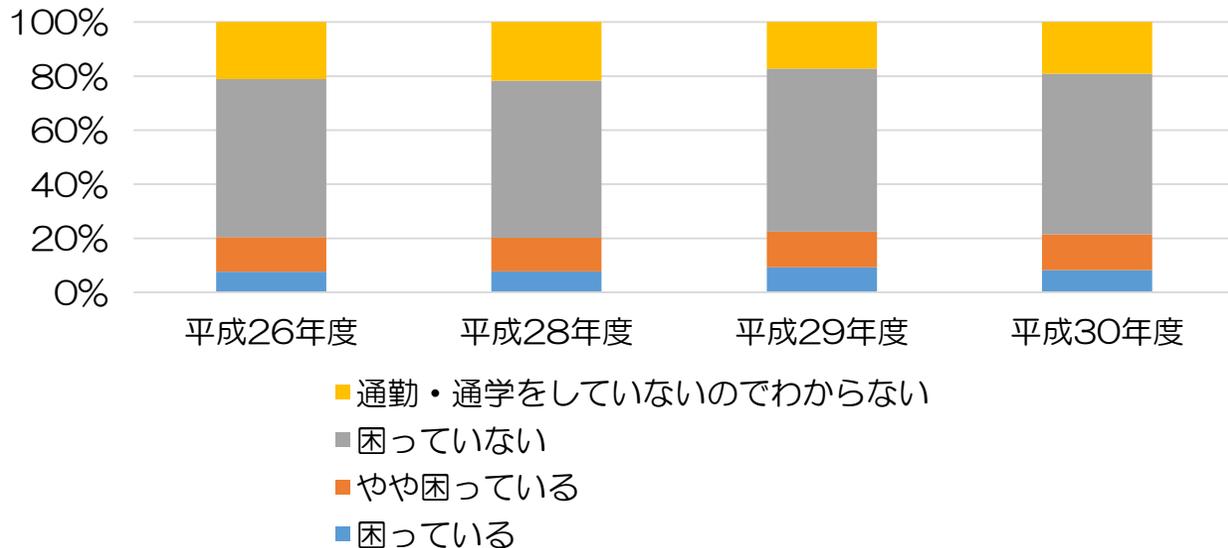
実施時期	対象者	回収率
平成27年3月	満20歳以上の市民2,000人	58.8%
平成29年2月		58.8%
平成30年2月		55.4%
平成31年2月		52.2%

■市内交通に関するアンケート（高齢者対象）の実施状況

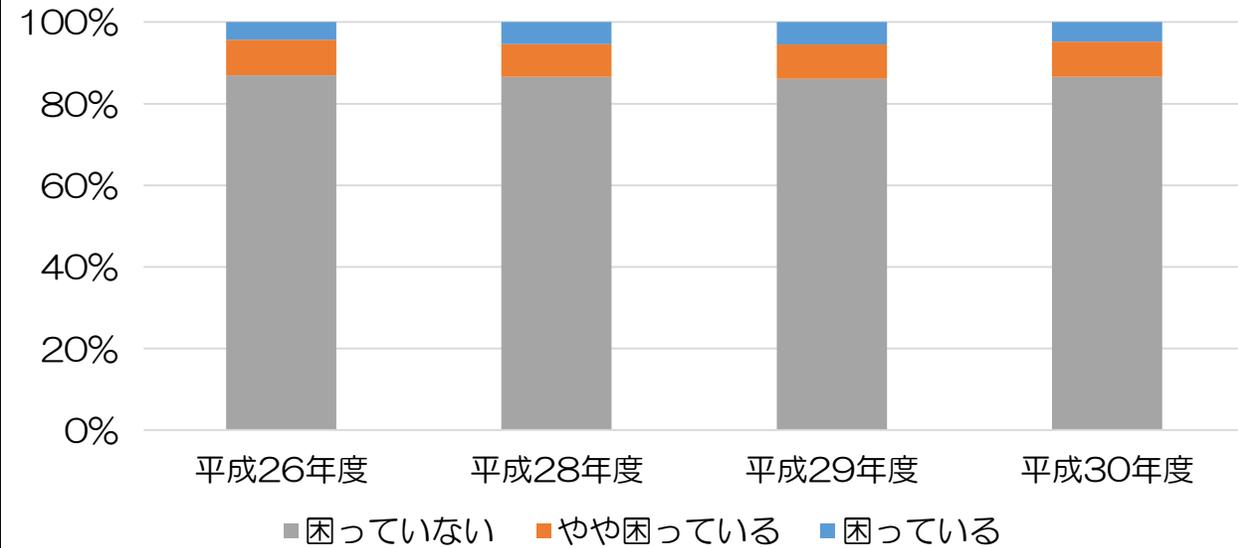
実施時期	対象者	回収率
平成30年12月	満65歳～満85歳の市民1,000人	49.6%

■アンケートの結果（抜粋）

「ご自身の通勤、お子様の通学の交通手段に困っている、又は不便だと思いますか？」の回答区分（%）



「買い物・通院の外出の交通手段に困っていますか？」の回答区分（%）



5 さくら市の公共交通の課題

- 市民の約20%が通勤・通学的手段に、約13%が買い物・通院的手段に困っている
- 路線バスは、平日は、日中に、土曜・日曜・祝日は、終日、運行する便が少ない
- 朝、通勤・通学に利用できる路線バスの便が少ない
- 市内の住宅地域・商業地域・観光拠点の多くにバスの路線がない
- 屋根・駐輪場が整備されているバス停が少ない
- 乗合タクシーは、平日以外に運行しない
- 乗合タクシーの1便当たりの運行時間が長い
- 路線バス・乗合タクシーを利用したことがない市民が多い
- 行政区内の移動に利用できる公共交通がない 等

6 さくら市地域公共交通網形成計画の目標(1)

目標①
通勤・通学に利用しやすい路線バスの研究

目標②
住宅地域・商業地域・商業施設・
観光施設への路線バスの路線の整備

目標③
路線バスの停留所の強化

目標④
路線バスの運賃の定額化

目標⑤
買い物・通院に利用しやすい
乗合タクシーの研究

目標⑥
観光温泉バスの一般乗合旅客
自動車運送事業による運行

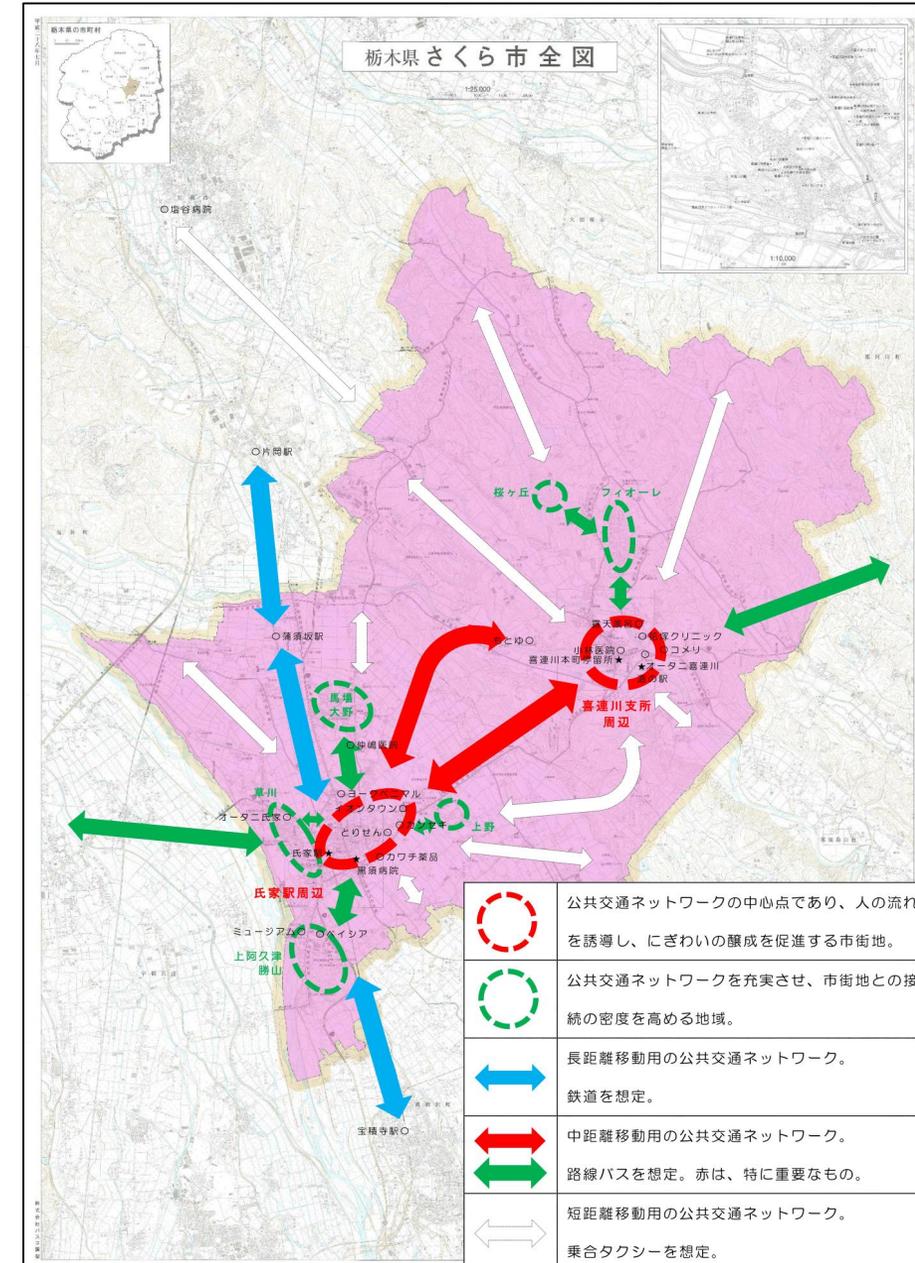
6 さくら市地域公共交通網形成計画の目標(2)

目標⑦ モビリティ・マネジメントの促進のためのリーフレットの定期発行

目標⑧ 既存の交通サービスの統廃合

目標⑨ 新たな交通需要に対応するための研究

■地域公共交通網形成計画が目指す将来像



■各目標の実施スケジュール

目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①			実施		
②				実施	
③		実施			
④				実施	
⑤		実施			
⑥			実施		
⑦	実施				
⑧	実施				
⑨	実施				